教育効果の高い体験交流を

埼玉県・秩父地域

東京に「ちかいなか」秩父
都心から90分、民泊家庭は80軒

埼玉県の秩父地域は、東京都心から約80㌔圏内（バス・電車で2時間以内）でありながら、ユネスコに登録された「秩父祭」に代表される歴史や伝統文化、素晴らしい自然、人情にあふれた地域です。

歴史の教科書の中では、「和同開珎」「秩父事件」などが有名で、地学の面では〝日本地質学発祥の地〟として「日本ジオパーク」にも選ばれています。また今でも人気が続いているアニメ「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」や映画「心が叫びたがっているんだ。」「空の青さを知る人よ」の舞台であるアニメの聖地でもあり、日本全国で歌われている卒業ソング「旅立ちの日に」の発祥の地でもあります。

また、風光明媚で豊かな自然が残り、四季を通じた観光要素も多くある地域で、さらにはノスタルジックな街並みが残っており、昨今の昭和レトロブームもあり老若男女問わず、人気が高まっています。

秩父の雄大な自然を肌で感じ、学習できるジオパークツアー

全員で料理して「いただきます」

■教育民泊70軒

民泊では、約70軒の登録家庭が1軒あたり3～4人の少数単位で生徒たちを迎え、地域独特の生活を体験できます。お預かりした生徒さんは、受け入れ家庭の方と料理を一緒に作り一緒に食事をすることはもちろん、家業体験なども含め常に一緒に活動します。お互いにコミュニケーションを取りながら活動することで、普段では得難い経験が得られるでしょう。民泊で生徒たちをお預かりしている間はほんものの家族同様、家庭の一員として、自然が多い秩父ならではの生活体験や親密なコミュニケーションを図りながら、さながら親戚の家に遊びに来たかのような自然体の体験ができることをお約束いたします。

■体験プログラム

田植え体験や稲刈り体験、貴重な地質を生かしたジオパークを巡るガイドツアーが人気です。学校単位やクラス単位で柔軟に対応でき、時間もツアーに合わせて調整可能と、学校のニーズに合わせた自然、文化を体感できる豊富な体験プログラムを多数ご用意しています。また、国指定伝統的工芸品「秩父銘仙」の染めを手軽に体験できる型染め体験など室内のプログラムもあり、天候を気にせずできる体験メニューもございます。

みんなで田植えを体験

■コーディネート組織

「一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社」は、行政とも密接に連携しており、秩父医師会や秩父消防本部にも受け入れの際には事前にお知らせし、万が一の緊急時にも、地域ぐるみで対応する準備もしています。その他、学校や家庭が望むニーズにも可能な限り対応いたします。

バスでは修学旅行で人気の高い国会議事堂から約90分、東京ディズニーランドから約110分。首都高・関越道経由で花園IC下車、国道140号を利用。鉄道ではJR山手線池袋駅から西武鉄道・特急ラビュー号で西武秩父駅まで約80分。都心から一番近くて、一度に約100人まで受け入れ可能なのが秩父地域の民泊です。

東京への修学旅行や林間学校の1行程として〝ちかいなか秩父〟の民泊を取り入れ、人情あふれる田舎の生活体験をしてみませんか。

一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社
〒368-0032 埼玉県秩父市熊木町9-5
秩父ビジネスプラザ
TEL 0494-26-6260　FAX 0494-26-7331
E-mail:info@chichibu-omotenashi.com
URL https://www.chichibu-omotenashi.com/

福井県・若狭路

地域のコーディネーターが支援
負担軽減と持続的受け入れ実現

ボート体験

福井県若狭地域（敦賀市・美浜町・若狭町）で展開されている「若狭路はあとふる体験」は、宿泊プログラムのホームスティ型民泊と、クラス別、男女別分宿の漁家民宿を軸に、探究学習や農林漁業、アウトドアなど約50種類の多彩な体験を組み合わせた教育旅行プログラムを準備している。事業の根底には、「愛・感謝・信頼・挑戦」を理念に、地域の自然や暮らし、人の営みを次世代へつないでいくという明確な思想がある。

宿泊プログラムとして、一般家庭に滞在するホームスティ型民泊である。受け入れ家庭は農漁業者に限らず、会社員世帯や高齢者世帯、3世代同居など多様で、参加者は「お客さま」ではなく家族の一員として迎え入れられる。食事づくりや後片付け、布団の準備など、地域の日常生活を共にすることで、家族の役割や支え合い、地方が抱える課題を実感として学ぶ機会となっている。福井県の幸福日本一を体験してもらいたい。

さらに、1次産業の舞台でもある地方の漁村での生活を体験できる漁家民宿の二つの宿泊プログラムが中心となっている。

■若狭地域の強み①
約60種類の選択体験プログラム　農林漁業・アウトドア体験の充実

漁村での宿泊で、しじみ漁や魚さばきを体験。自然豊かな場所でリアルな1次産業を体験できる

体験プログラムは約60種類を用意。漁業体験や農林業体験をはじめ、アウトドア、味覚、歴史文化など幅広い分野を網羅している。地域を熟知したインストラクターが指導にあたり、自然と共に生きる若狭の暮らしを体感できる点が特徴だ。

■若狭地域の強み②
エネルギー学習を核とした探究学習

探究学習では、日本のエネルギー問題をテーマに、エネルギー関連施設の見学や地域の取り組みを題材とした学習を展開。体験を通じて問いを立て、考え、意見を交わすプロセスを重視し、持続可能な社会のあり方を自分事として捉える力を育成する。エネルギー拠点を有する若狭地域は、探究的な学びのフィールドとして高い親和性を持つ。

■若狭地域の強み③
地域コーディネーターによる一括支援体制

本事業を支えているのが、地域コーディネーターの存在である。宿泊、体験、食事、移動、スケジュール調整までを一括して担い、学校や旅行会社と地域との橋渡し役を果たす。受け入れ家庭やインストラクターとの日常的な関係づくり、事前調整から当日のフォロー、緊急時対応までをきめ細かく行うことで、教育旅行としての安全性と質を確保している点は大きな強みだ。現場を熟知したコーディネーターが介在することで、学校側の負担軽減と、地域側の持続的な受け入れにつながっている。

北陸新幹線敦賀開業により、広域からのアクセスも向上した。若狭路はあとふる体験は、理念に基づく人間的交流と、コーディネーターを核とした受け入れ体制、多彩な体験プログラムを通じて、次世代育成と地域経済を支える取り組みとして、今後さらなる展開を目指している。

プログラム終了後には別れを惜しむ姿も見られる

一般社団法人 COLORsプラス
（若狭路はあとふる体験）
〒919-1131 福井県三方郡美浜町木野21-4-1
〈㈱旅工房内〉
TEL 0770-32-2222　FAX 0770-32-6667
URL https://tabikobo-jpn.com/
E-mail:tabikobo-all@joy.ocn.ne.jp

長野県・南信州

民泊と体験交流で相乗効果
南信州SDGs教育プログラム

ソーセージづくりを体験

なぜ今、南信州か？

○「主体的・対話的で深い学び」「SDGs理解学習」「ESD（持続可能な開発のための学習）に向けて、ファシリテーター（学習支援者）の養成に積極的に取り組んでいます。

○1996年より全国からの教育旅行の受け入れを開始、29年間の安定した実績。

○全国で初めて農泊を教育旅行に導入（1998年）。第1回オーライ！ニッポン大賞最優秀賞、2017クールジャパンアワード受賞（農泊）。2025GDTOP100に選出（南信州の農家民泊）。

○南信州観光公社は、飯田下伊那など16市町村が出資し広域行政の協力で受け入れ。

○ラフティングなどの200近い体験プログラムが用意されています。

SDGsと学習指導要領～学校教育に求められるもの～

農家民泊120軒、1300校の実績

OECD PISA（2022学習到達度調査81カ国・地域から69万人が参加、15歳対象）が評価する主要な能力で、日本はOECD加盟国中、数学的リテラシー1位（前回1位）、科学的リテラシー1位（同2位）、読解力2位（同11位）と全て世界トップクラス。この結果をOECDはコロナによる休校日数が比較的少なかったこと、学習指導要領による授業改善効果、学校現場でのICT機器への習熟等を主因として分析しています。

学習指導要領の求める主要な能力は、OECDが実施するPISAの調査目的とリンクしています。既に始まった大学入試制度の改革も以下の点を意識しています。

世の中は「正解のない問い」に答える「問題解決能力」や「創造性」を持つ人を求めています。感動体験南信州は、学歴や偏差値でその能力の有無は予測できないものであり、次代を切り拓く青少年には、「認知能力」（IQや学力テストで計測される）ではなく、「非認知能力」がその職業人生においても必要とされると考えます。

これは真面目さ、開放性、外向性、協調性、精神的安定などから構成され、人間力と言い換えてもよいものです。

天竜川ラフティングでチームワークができる

農家民泊の受け入れ

1998年に全国に先駆けて受け入れを開始して以来、28年にわたり受け入れを行い、ご利用いただいた学校数は約1300校に上ります。コロナ禍や高齢化の波による受け入れ農家の減少を乗り越え、現在も約120軒の民泊受け入れ農家の方々との協力体制を敷いており、1日当たりの最大人数は300人を数えます。また、地域文化としても定着していることで、新たに受け入れ農家が毎年何軒も現れているため、今では60歳未満の受け入れ農家の全体に占める割合は40%を超えており、将来にわたって継続的な受け入れが可能となっています。

安全安心なプログラムと便利なアクセス

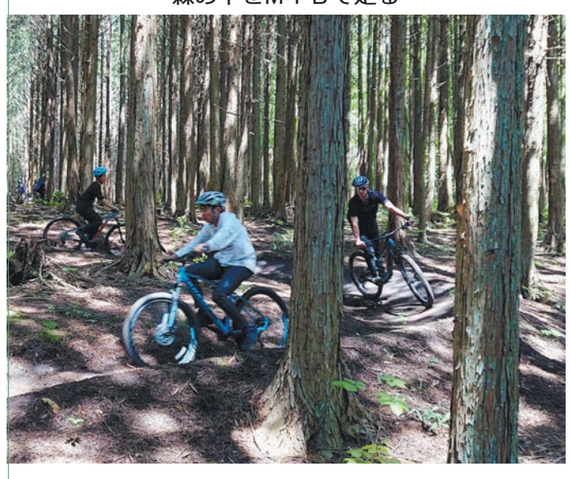
300人の受け入れが可能な天竜川でのラフティングプログラムは、2024年に委託業者を変更したことで全国的に例のない、スタート&ゴール地点とも護岸された港と常設の建物内に着替え会場を有し、7人・9人乗りボートで編成しチームワーク醸成を意識した対応を行っています。

中京圏から2時間、関西圏から3時間30分、首都圏から4時間とアクセス面でも大変便利なものとなっています。名古屋駅を中継して首都圏へ向かう際にもご利用でき、方面別やクラス別での設定にも適しています。

情報モラルやメディアリテラシーへの対応力の強化を意識したものとなる2030年以降の学習指導要領の改訂も見据え、自己肯定感の涵養や他者理解の心を育むプログラムをふんだんに用意しています。皆さまのご来訪をお待ちしています。

農家民泊のお別れ式

森の中をMTBで走る



SAPの体験

▶ネギの収穫、ほ場から考える農業のSDGs

リンゴ畑から循環型農業の効果を知る

◀木工の体験

◀飯田水引の製作体験

株式会社 南信州観光公社
長野県の認定するSDGs推進企業第147号
〒395-0001 長野県飯田市座光寺3349-1
エス・バードE棟2階
TEL 0265-49-4737　FAX 0265-49-4738
URL https://www.mstb.jp/